

次号予告

特集 教育

臨床における教育方法をどう改善してゆくか	川崎市立川崎病院	林 茂
現行理学療法士養成カリキュラムの評価と展望	国療東京病院付属リハ学院	金子 誠喜
現行作業療法士養成カリキュラムの評価と展望	国立厚済療養所付属リハ学院	金子 翼
私の教育信条 (1) 学校教育の立場から	国立近畿中央病院付属リハ学院	宇都宮 初夫
(2) 臨床教育の立場から…聖ヨゼフ整肢園	九州リハビリ大学校	山口 軔音
(3) 臨床教育の立場から…聖ヨゼフ整肢園	渡辺 隆	
私の教育信条 (1) 学校教育の立場から	東大病院	木村 信子
とびら	独協大学	高橋 勇
講座 関節のモビリゼーション 3. 脊椎のモビリゼーション	国立大阪南病院	中林 健一
心理学シリーズ I 発達心理 (3)		
認識機能の発達	筑波大学	高野 清純
プロGRESS ADL 評価	独協大	高橋 勇
リハビリテーション インフォメーション<東京都>…東京医科歯科大	細田 多穂・他	
養成校紹介 東京衛生学園専門学校	古里 正彦	

編集後記

作業療法の世界では、今エアーズの感覚統合訓練が大はやりです。一昨年暮、アメリカ各地の作業療法施設を見学した折、あちこちで、感覚統合訓練をやっている現場をみました。成人の重度精神薄弱者まで、スクーターやプランコに乗せられているのです。担当のセラピストは、「これで平衡感覚が養われるのです」と自信満々に答えたものでした。「はて感覚統合訓練は学習障害児のための訓練法でなかったか？」と大いに疑問に思いながら帰国しました。昨年の第14回日本作業療法士学会（大阪）でも、感覚統合の演題は沢山出されました。全国各地で行われる、OTの研修会でも、このテーマは人気があると聞きます。宮前珠子氏らによるエアーズの翻訳本が出てからは、特殊教育の世界でもこの方面に興味を抱く人が増えたようです。

私自身、不勉強でこの方面の知識が足りません。いわば素人同然です。しかし「重

い脳性麻痺児や精薄児にまでこの訓練法をやるのはおかしいのではないか」と今までの臨床経験から、そう思うのです。そこで今回は、「学習障害児」をまず客観的にとらえ、その中の一つのアプローチとして今作業療法士たちが盛んに実践している感覚統合訓練の臨床経験を知らせていただくという意図のもとに、この特集を組みました。冒頭の鷺田論文でも、「1970年代に入りその治療法の有効性が問われてきている」と述べています。新しい治療法を開発、普及しようとする先達は、その有効性について常に問われているのです。富士見産婦人科事件は我々医療関係者にきびしい姿勢の必要性を、改めて教えるものでした。寒い寒い季節もやっと通り過ぎ、これから職場では新人を、学院では新入生を迎え、はり切る季節です。どうか頑張ってください。

(寺山久美子)

<編集顧問>

天 児 民 和
九州労災病院名誉院長

五味 重 春
埼玉県生活福祉部

砂 原 茂 一

国立療養所東京病院名誉院長

津 山 直 一
東京大学教授・整形外科

水 野 祥太郎
川崎リハビリ学院長
(五十音順、以下同じ)

<編集委員>

上 田 敏
東大リハビリ部

荻 島 秀 男
リハビリテーションペ
イン (痛み) クリニッ
クわらび診療所

大喜多 潤
兵庫県リハビリセンター

寺 山 久美子
都心身障害者センター

富 岡 詔 子
山梨日下部病院

奈 良 勲
金沢大学医療技術短大

福 屋 靖 子
筑波大学

松 村 秩
都養育院リハビリ部

<編集同人>

安 達 克 巳

池 田 俊 雄

伊 東 元

宇都宮 初夫

大 丸 幸

金 子 翼

鎌 倉 矩 子

紀 伊 克 昌

木 村 信 子

駒 沢 治 夫

佐 藤 馨

嶋 田 智 明

鈴 木 明 子

関 昌 家

高 橋 正 明

橋 屋 久 長

橋 元 隆

藤 沢 しげ子

矢 谷 令 子

山 下 隆 昭

(担当 細田・西塚)